



THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2007年2月 No.297
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2006~2007)	
センテニアルクラブ会長	『たのしくなければ、センテニアルじゃない!!』
国際会長	『愛をもって 積極参加』
アジア会長	『参画、そして感動を!』
西日本区理事	『一人はみんなのために、みんなは一人のために』
中西部部長	『いざ立て! 熱き思いをいだいて』

クラブ役員	Officers
会長	: 坂本 哲朗
副会長	: 永島 寧
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 坂本 千春
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of February

February Club Meeting 『IBC・DBC』(変更)

だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」

(マタイによる福音書5章6節)

2月第1例会

日時: 2007年2月17日(土)13:00~17:50
 集合時間/場所: 13時、阪神・西宮駅西側改札口前
 見学先: 辰馬本家酒造(株)本社工場(白鹿)
 白鹿ミュージアム
 例会時間/場所: 16時30分、阪神・西宮駅東側改札口北側すぐ、西宮市民会館3階小会議室C
 参加費: 見学会は無料。見学会終了後の食事代2,000円が必要です。

お年玉つき年賀はがきの当選切手(14シート)または金額換算で@1,800円をご持参ください。貴重なCSの資金源になるので、よろしく願います。

2月第2例会

日時: 2007年2月28日(水)18:45~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館4階

*2月例会当番

・見学会 = 藤原君 ・例会 = 中村茂君

*2月お誕生日 福永ネット = 16日、田中ネット = 19日
 石津君 = 21日

1月BFニュース

Report of the Brotherhood Fund in January

切手提供者: 山田、福永、隅田、田中君
 計160g

現金提供者: 山田君 1,000円

殊勲賞: 山田、福永君 80g

第二の人生、どう生きますか?

坂本 千春

最近、夫婦でよく話す事の中にこれからの近い将来、どのようなライフスタイルで過ごすかという話題がある。

息子の拓也は、あと3年すれば大学を卒業し、社会人となり私たちの手を離れてくれるはず? 私たちは、50歳になる前に一応の子供への責任からは自由になれると思っている。そしてそれから10年もするとサラリーマンの哲朗には第二の人生がやってくる。

彼は、最近多くなった第二の人生の生き方をとりあげたTV番組を観て色々と触発されている様子。ああもしたい、こうもしたいと夢が膨らんで、50歳くらいから助走しはじめそうな感じ。

私は? どうだろう。哲朗の大好きな離島生活なんて、とんでもない! もちろん南の島は、大好き。でもそれは、たまに行くリゾートホテル生活付の南の島で、哲朗専属の家政婦役付の南の島なんて、ありえない。サラリーマンでもない私にとって第二の人生って言われても、特に思い浮かばない。今までを振り返ってみてもきちんと目標を立てて生きてきたわけでもない。その時その時の行き当たりばったり。これからどうするの? って自分に問いかけても今は今の仕事を楽しく続ける事しか思い浮かばない。センテニアルの人生の先輩方に、聞きたい、第二の人生ってどうですか?

【クラブ統計 Statistics】

2007年1月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	13名	7名	1月: 切手160g	1月: 15,900円 (06年7月からの累計): 累計: 138,115円 オーケヨン累計: 55,500円
例会出席 13名	メネット	4名	0名	現金 1,000円	
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	(06年7月~07年1月の	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	累計)切手 1,380g	
出席率 76.5%	合 計	17名	7名	現金 2,000円	

今月の聖句に寄せて

この聖句に出会った時、私はウエルネスセンターで一人の保護者のクレームに悩まされていた。その保護者の“自分の子どもだけがよかったらいい”という言い分にうんざりし、“そんなに嫌ならやめたらいいのに”とさえ思っていた。“右の頬を打たれたら左の頬を向ける”。この聖句は自分を責める者に愛情をもって接する・・・人は自分を好いてくれる者には優しくなれるが、その逆は避けてしまうのが普通である。それを愛をもって自ら接するというのだ。私の心を見透かされたようなこの聖句にそれからは勇気をだしてこの保護者に歩み寄っていた。するとそれまでは話すごとにこじれていたことが解きほぐれ、「ゆっくり子離れしていきます」とまで言ってくれたのだ。「愛を持って人と接する・・・苦手な人とも」私はいつもこの聖句に励まされている。

聖句選・コメント：鍛冶田千文

1 月 第 1 例会

【Report of the January Club Meeting】

と き：1 月 17 日 (水) 18 : 30 ~ 20 : 30

と ころ：リーガグランドホテル 3 階 葵の間

本日の例会は、次月に「新酒会」を企画しているため、「TOF」(Time of Fast)を強調月間とし、食事のない例会。三浦君から趣旨の説明がありました。

坂本会長から来期の役員 右表 の紹介がありました。昨夏開催された「フレンドシップキャンプ」(8 月 22 ~ 25 日、沖縄・渡嘉敷島)の記録ビデオ(DVD)が完成し、画面に映し出される子どもたちのいきいきとキャンプをしている様子を見ながら、中村茂君からキャンプの報告がありました。

藤原君から、当クラブの会計が「黒字転換基調にあり、健全な財政事情を保つためにも引き続き物品販売やオークションは必要」との説明がありました。

また、5 月開催の「ハワイ IBC 交流計画」についても、藤原君から、スケジュール詳細について説明がありました。現在の参加者数は 11 名予定。

谷川君から、今月、来月と例会の曜日、場所を変更することについて、「安易な変更はよくない」という提言がありました。

鍛冶田 Y 連絡主事から、当クラブが支援しているミャンマーにヤンゴン YMCA とマンダレー YMCA に 410 ドル(5 万円)を 205 ドルずつ配分したという報告がありました。(中村 茂高)



会長	三浦 直之	Naoyuki Miura
副会長	永島 寧	Yasushi Nagashima
副会長	坂本 哲朗	Tetsuro Sakamoto
書記	石津 雅人	Masato Ishizu
会計	藤原 正巳	Masami Fujiwara
炉外会長	中村 幸枝	Yukie Nakamura
広報・プリテン	中村 茂高	Shigetaka Nakamura
	大村 肇	Hajime Omura
EMC/BMC	坂本 哲朗	Tetsuro Sakamoto
交流 IBC/DBC	谷川 寛	Kan Tanigawa
ファンド BF/EF/JWF	山田 孝彦	Takahiko Yamada
地域奉仕 CS/TOF	畠中 彬	Akira Hatakenaka
	新保 正秋	Masayuki Shimpou
Yサ・1+1 YMCA Service	松浦 孝次	Kouji Matsuura
ウエルネス	中村 隆幸	Takayuki Nakamura
連絡主事	鍛冶田千文	Chifumi Kajita
会計監査	山田 孝彦	Takahiko Yamada

2007年度 中西部合同新年

松浦 孝次

新しい年を迎えて、恒例の中西部新年会が1月6日(土) 11時から15時まで、土佐堀YMCA 2階ホールで開催されました。阪和部の15人を含めて、約130人が出席、終始なごやかな会でした。

わがクラブからは、坂本会長をはじめとして、石津、谷川、藤原、福永、三浦、山田、松浦メン。坂本、松浦、山村メネット。計11名が出席しました。

第1部は式典。工藤中西部長の新年挨拶から始まって、今年創立125周年を迎える大阪YMCA・錦織総主事、財政再建とHIV防止を訴える森本西日本区理事などが挨拶。

第2部は吟詠と吟舞。新春を愛でる曲などが披露されましたが、ワイズの会としては、珍しいアトラクションでした。小玉文吾氏(元朝日新聞社、「あしや喜楽苑」参与)が、「人生の旬は自分で創る」と題して、元気あふれるスピーチ。人生前半の苦勞が後半の収穫になる、自分の身の丈に応じた役割を担う時代だ、のメッセージは同感。とくに、いま壊れかけている地域社会でなんらかの役割を担うべしは、共鳴します。

第3部は、祝宴。ビュッフェ・スタイルで、食事を楽しみました。ト田・次期中西部長の閉会点鐘で、閉会しました。

「プリザーブド・フラワー」を会場入り口で販売するメネットさんたち。美しいフラワーは人気抜群、すぐに完売。



【Report of the January Club Meeting】

と き：1月24日(水) 18:45～20:50

と ころ：大阪YMCA

出 席：石津、坂本、中村茂、藤原、三浦、山田、松浦君
計 7名

1. 2月第1例会の開催とプログラム(予告のとおり)

2月は、趣向を変えて、西宮市民会館で開催する。13時に阪神・西宮駅・西改札口に集合。辰馬本家酒造・本社工場、白鹿「酒ミュージアム」を見学したあと、16時ころから17時半まで、西宮市民会館で例会をもつ(食事も)。現在の段階で、約20人(ゲスト含む)が参加の予定。プログラムは第1面のとおり。

2. 3月例会などの予定

3月例会は、3月22日(水)渡邊公生氏(京都プリンスクラブ、京都部監事)のスピーチ「子どもたちのためにー未来の設計図」4月、5月例会のプログラムは未定。

3. 4月クラブ懇親会「合宿」

4月20日(金)～21日(土)に、クラブメンバーの懇親・交流を目的とする「合宿」を行う。坂本会長の発案によるもので、「日頃、時間の制約があって十分には交流できていないので、泊りがけでワイワイと楽しくやりましょう・・・」という趣旨。沢山の人の参加をお待ちします。会場の選定は松浦が担当。会場は「バナヒルズ」。別掲記事をご覧ください。

4. 多文化交流キャンプ(アメリジアン支援プログラム)今後の取組みについて

これまでの活動を評価しつつ、今後どう取組んでいくか、中村茂、畠中メンの思いも織り込みながら、改めて検討する。上記3.の「合宿」のときに議論しよう。

5. クラブ運営について

谷川メンから提起された運営上の問題 例会の持ちかたなどについて協議した。

(1)第1例会は、ワイズメンが出席する責務を負う大事な例会であり、他クラブのワイズメンがいつでも出席する機会を与えられている会であって、安易に日時を変更することは避けねばならない。例外として、YMCA、ワイズメンズクラブの行事などで、やむをえず変更することはありうる(例。他クラブとの合同例会、YMCAクリスマス行事との兼合いなど)

第2例会(わがクラブは役員会として運営している。ただし、どなたでも出席は大歓迎。メーキャップにもなる会)の日時設定はある程度柔軟に運営することは許されるのではないか。

なお、変更については、役員会の決定後、クラブメンバーの追認を得る。また、区の強調月間については、尊重をする。

(2)クラブ内のコミュニケーションをさらによくすることについて、連絡網の見直しと確認を行う。

第1例会の欠席者に対して、細やかな配慮 例会での大事な事項や資料を送るなどを心がける。山田メンが担当する。ただし、ブリテンを読むことはクラブ員の責務でもある。

(3)役員役割を再確認。会長の負担を軽減する趣旨で、対外的な事項は会長が、その他の事項は適宜 担当役員に委ねる。

6. その他

(1)藤原メンから、ハワイとのIBC交流について、旅行会社の選択についてなど 相談と報告があった。

(2)なかのしまクラブの10周年記念会に大いに協力する。

(松浦 孝次)

IBC・DBC委員長：谷川 寛

“Aloha from Hawaii”:

Peter Bower さんが逝去されました

1月22日、ヌアヌクラブの中心メンバーの一人で、大阪 YMCA にも駐在されたことのある Peter Bower さんが亡くなりました。享年72歳でした。

同氏は前回のハワイ訪問時にレイを持って空港まで出迎えて頂いた方で、記憶されておられる方もあります。天国での平安をお祈り致します。

“Bauhinia News”

香港 Bauhinia クラブニュースより抜粋

賑やかに冬季ピクニック実施

12月9日、同クラブのメンバーおよびゲスト38人は香港ウエットランドパーク周辺にピクニックに出かけ、楽しいひとときを過ごしました。

独居老人のためにパーティー開催

同クラブでは、2月12日に西部地区女性福祉クラブと共同で、多くの独居老人を招待し、旧正月を祝う集いを開催する予定です。

Club Activities (January, 2007)

On January 17, the club's January meeting was held at the Rihga Grand Hotel in Osaka, with a total of 17 Y's men, and Y's menettes in attendance.

At the start of the meeting, Y's man SAM FUJIWARA, club treasurer, reported remarkably improved result of our club's budget, due to everyone's effort, about which everyone was very pleased.

He also informed of the "tentative" itinerary for the coming visit to Hawaii this May and a total of 12 Y's men and Y's menettes expressed their wishes to participate in the proposed tour.

Following his report, discussion was led by a question raised by Y's man KAN TANIKAWA on how to run our club keeping in mind the spirit of Y'sdom, (which was also discussed at the club's executive meeting held later.)

The highlight of the meeting was a report made by Y's man SHIGETAKA NAKAMURA.. Showing the video film, he spoke about his experiences in joining the AmerAsian Friendship Camp of 2006 held in Okinawa last August. Yen 15,900 was collected for the club's fund that evening.

ホームページ

http://www16.ocn.ne.jp/osaka_hp/ys.html



YMCAニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

早天祈祷会

2月16日(金)7時30分～8時30分

証し/水口美里氏(土佐堀ワイズメンズクラブ)

2007年度年間聖句・讃美歌公募

年間聖句・讃美歌は、大阪YMCAに関わる一人ひとりの活動指標となり、集会があるごとにその聖句を読み、歌う讃美歌となります。皆さまからの応募をお待ちしています。

- ・大阪YMCAの使命に則していること。
 - ・社会情勢が反映されていること。
 - ・日ごろあまりキリスト教に馴染みのない人にとっても受け入れやすいものであること。
- 締め切り:2007年2月9日(金)



4月クラブ懇親会：パナヒルズで

4月20日(金)夕刻～21日(土)午前、開催します。松下電器健康保険組合が所有運営しているところです。立派な建物と庭園があり、テニスコートやゴルフ練習場まであります。また、桜がすばらしいところです(堂々とした古木の並木があります)。4月20日ころはどうか?

モノレール千里中央駅からは東へ3つめ、南茨木駅からは西へ1つめの「宇野辺駅」から徒歩10分(20分ごとの連絡バスもあり)。詳細プログラムは追ってお知らせします。「パナヒルズ」(<http://www.mhio.panasonic.co.jp/>)

所在地

〒565-0802 大阪府吹田市青葉丘南10番1号

TEL 06-6877-0111

FAX 06-6877-0504

施設

浴室 会議室 ブライダルコーナー レストラン 広間 スポーツハウス テニスコート ゴルフ練習場 駐車場 など

収容人数 / 宿泊213名 集会600名



2006年、リニューアルした80周年を迎える故宮博物院。総点数65万点を所蔵。特に今、名品の多い北宋時代(960～1127)の絵画、青磁が注目を集めている。

会員からのメッセージ

アメリジアンキャンプの子供たちを見るたびに心をリフレッシュ出来ます。今年もワイズの活動にがんばっていきたいと思います。(石津 雅人)

今日は12回目の阪神大震災の日です。いつまでもこの事を忘れずにしたいものです。(大村 肇)

食事なしの例会で充分にお互い意見交換ができて実りある時間でした。(鍛冶田 千文)

今日はクラブメンバーのみの例会でクラブ運営の色々な話を聞くことが出来たので良かったと思います。(坂本 千春)

アメリジアンキャンプが子供たちの楽しい思い出になったことはすばらしいことです。畠中さん中村さんありがとうございました。(坂本 哲朗)

ハワイIBC交流の計画が具体的に楽しみです。たくさんの方と行けるといいと思います。(隅田 恵子)

今年もタイムオブファストの例会を守ることが出来て喜んでます。

身内の例会になりましたが意味ある例会でした。(谷川 寛)

ハワイ地区大会に夫婦で行けますようお願いを込めて

(中村 幸枝)

今年もタイムオブファストの例会を守れたことが出来て喜んでます。

(田中 穰二)

満81歳を迎え生かされていることを覚え感謝です。メネット欠席失礼しました。

(福永 嘉彦)

色々とお音で話し合いが出来た充実した例会でした。ハワイの予想より多くプランを担当させて頂いた者として誠に心嬉しい限りでした。

(藤原 正巳)

フレンドシップキャンプのビデオを拝見。畠中さん中村さんご苦労さまでした。交流の様子がよくわかりました。直接現地に行けなかったのは残念ですが。

(松浦 孝次)

センテニアルの会計が好転の兆しがあり朗報でした。継続は力なりを実感しております。

(三浦 直之)

新年にふさわしく会計の明るい見通しクラブ運営計画の基本的な考え方などをお互い腹藏なく議論しました。後はこれをいかに実行に移していくかセンテニアルクラブの強いメンバーシップに期待しましょう。

(山田 孝彦)

今年もどうぞよろしく中西部新年会に出席ししばらくお会い出来なかった他クラブの方々とお会いでき感謝です。

(山村 利子)

後記

ブリテンの原稿の遅れを気にしながら、1月下旬、台湾に行っていました。台湾が世界を視野において発展をしつつあるを感じながら帰ってきました。新幹線の開通は日本でも話題に上りましたが、世界の宝物庫、故宮博物院のリニューアル、世界一高いタワー「台北101」(508m)、世界10大レストランの一つ「小籠包」の店など、観光への力の入れようは相当なものです。その他、盲学校や知的養護学校、脳性マヒ協会を訪問しましたが、長はすべて女性で、米国、日本などの留学体験をもつ人たちが多かったのには驚きました。アジアの中でも日本は取り残されるのではないかという危機感を持ちました。日本も近隣のアジアに学ぶことも必要かも知れません。

中村 茂高